



4年ぶりの大阪開催となった「TEJ2023」主なシーン(1:9カ国の観光大臣・観光行政トップが会した第6回TEJ観光大臣会合、2:盛大なグランドフィナーレの様子、3:多数の来場者でにぎわう展示会場、4:万博やATなど興味深い内容となったテーマ別シンポジウム)



## 新たな旅の価値、進化する「日本」を発信

ツーリズムEXPOジャパン2024、2年ぶりに東京で開催  
大阪・関西万博、渡航自由化60年、BtoB強化など盛り込んで

日本観光振興協会、日本旅行業協会(JATA)、日本政府観光局(JNTO)の主催による世界のツーリズムをリードする総合観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2024」がきょう開幕。国内外の観光関連事業者が2年ぶりに東京に結集し、東京ビッグサイトで29日まで行われる。

国内外の観光需要が着実に回復している今年の総合テーマは「旅、それは新たな価値との遭遇」。旅行者の価値観が大きく変わり、訪日客の地方分散、被災地復興、SDGsといった観光による地域の持続可能な発展もこれまで以上に求められるなか、日本の観光市場が新しい姿で進化している姿を国内外にアピールする。

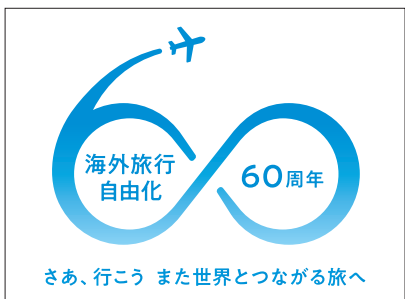
2024年は日本の海外旅行自由化60年の節目でもある。コロナ禍前並みの海外80カ国が出展するのは、好調に推移する訪日市場や国内市場に比べ、回復の遅れが目立つ日本の海外旅行市場への強い期待を端的に表しており、復活に向けた大きな道筋となるだろう。一方、BtoB強化の一環として、訪日以外を扱う第三国のバイヤーが訪れるのは、産業のグローバル化推進を見ずえた動きだ。

26、27日は観光関係者が商談を繰り広げる業界日、

28、29日は展示やイベントで旅行の最新情報を発信する一般公開日。会場では2025年日本国際博覧会協会と連携し、2025年大阪・関西万博に向けて弾みをつける展示も実施される。スペシャル・サポーターの山口智子さんによるトークイベントも見どころだ。

「新たな旅の創造」をテーマに掲げるフォーラム&セミナーでは、観光交流人口の拡大に焦点を当てた基調パネルディスカッション、7回目となるTEJ観光大臣会合、国内・海外・訪日の各領域でのテーマ別シンポジウム、生成AIや産業の将来を担う人材育成、アドベンチャーツーリズムといった諸課題に迫るツーリズム・プロフェッショナル・セミナー、ジャパン・ツーリズム・アワード表彰式などが開催され、知見共有や議論を通じてさらなる発展を模索する。活況に沸く訪日市場に向けては、JNTOが今年も「VISIT JAPAN TRAVEL & MICE マート」を合同開催。全世界の海外バイヤー280社が訪れる。

来場者数は業界日5万8000人、一般日12万2000人の計18万人を見込み、会期中に7000件以上の商談が予定されている。



上: TEJ2024スペシャル・サポーターに就任した俳優の山口智子さんと握手を交わす高橋広行TEJ実行委員長。下: JATAは海外旅行自由化60年をフックに海外旅行の完全復活を呼びかける

ごあいさつ



ツーリズムEXPOジャパン実行委員長 高橋広行

完全復活遂げる日本のツーリズム

今年で10回目を迎えるツーリズムEXPO ジャパンですが、これまで応援していただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

今年のツーリズムEXPO ジャパンの特徴を3点申し上げます。

1点目としては、日本における国内・海外・訪日旅行が完全復活した姿を世界に向けて発信する絶好の機会である点です。特に遅れているアウトバウンドについては、海外からの出展が4割を超えており、日本からの海外旅行復活への期待の高さが表れております。

2点目としては、開催が半年後に迫った2025大阪・関西万博の機運醸成であります。万博エリアでは、万博に出展する各パビリオンの出展内容を発表いたします。ご来場の皆様にはわくわくした気持ちになっていただき、多くの方に2025大阪・関西万博に足を運んでいただきたいと思います。その他の特集企画も見どころが盛りだくさんです。どうぞご期待ください。

3点目は、北陸地域の復興支援を取り上げたいと思います。まずは初日のウェルカムレセプションで、輪島の御陣乗太鼓の皆様にご出演いただき、元気な北陸の姿を皆様にお届けいたします。さらに28・29日の一般日に北陸地域の物産展を開催いたします。今後も息の長い支援をTEJの会場で行っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Message

ツーリズムEXPO ジャパン2024スペシャル・サポーターを務めさせていただきます、山口智子です。今年なんと、海外旅行自由化60周年で、私もこの年に生まれました。今年60歳の還暦を迎えます。記念すべき年に、旅のすばらしさを皆さんにお伝えすることが出来て、とても幸せです。旅は素晴らしいです。地球は素晴らしいです。地球には出会うべき、感動すべき、輝きに満ちています。地球があなたを待っています。私たちが待っています。一緒に旅に出しましょう。



ツーリズムEXPO ジャパン2024スペシャル・サポーター 山口智子さん

\*山口智子さんは、9月28日(土)の会場トークイベントに出演予定です。

変容する旅行者意識と旅の力  
送受の持続可能な発展にどう  
需要創出、人材育成、観光DX、被災地支援など



日本の観光産業の完全復活に向け、国内外の地域が持続可能な発展を図るための様々な取り組みにフォーカスする「ツーリズムEXPO ジャパン2024」。ビジネス商談や知見共有の場を様々な形で提供するとともに、2025大阪・関西万博のさらなる活性化にもつなげる。

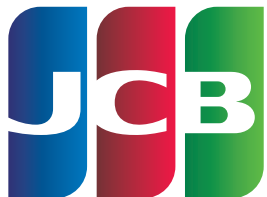
フォーラム&セミナー

観光交流人口の拡大テーマに基調パネルディスカッション

「新たな旅の創造」をテーマに行われる業界向けフォーラム&セミナーは、コロナ禍を経た旅行者の変化を受けて新たな価値をどう生み出すかに焦点を当てながら、地域の持続可能性の発展を産業全体で考える内容となっている。

基調パネルディスカッションの議題は「観光交流人口の拡大」。国内外の様々な地域・団体がいかに観光交流する人口を拡大し、地域の発展につなげていくか。鶴雅リゾート取締役アドベンチャー事業部部長の高田茂氏、さとゆめCEOの嶋田俊平氏、ヨーロッパ観光委員会(ETC) エグゼクティブディレクターのエドゥアルド・サンタンデル氏、JTB代表取締役社長執行役員の山北栄二郎氏の4名が、アドベンチャーツーリズム、過疎地域の発展、SDGs、旅行会社それぞれの立場から発表し、議論を交わす。

世界の観光トップが集う第7回「TEJ観光大臣会合」は、2024年日本・ギリシャ文化観光年のギリシャをはじめとする各国の観光大臣・観光行政トップ、国連世界観光機関(UNツーリズム)、世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)、太平洋アジア観光協会(PATA)、ETCの5国際観光組織の代表が参加。観光需要の世界的な復活を背景に、責任ある観光開発と持続可能性の両立に向けた自然・文化資源の保護、観光の質向上を図るべきとの総意を見た昨年を経て、今年は



海外はおトクに、JCB。

世界各国で1000店舗以上の優待をご用意!



ハワイでは  
ウルフギャング  
・ステーキハウス  
でも優待実施中!



韓国では  
新羅免税店  
(ソウル店・済州店  
・仁川国際空港店 T1/T2)  
でも優待実施中!

おトクな  
優待情報を  
もっと見る!



JCB たびらば

※2024年9月時点。ご利用には条件があります。

## ツーリズム EXPO ジャパン2024の注目ポイント

# 夕、 取り組むか に世界の知見集めて

さらなる成長を目指し、各国が新たな旅の創造についてどのような視点で取り組んでいるか議論する。

### 観光DXによる地域の発展、 学生企画コンテストなど多彩なシンポジウム

テーマ別シンポジウムは、国内旅行、海外旅行、訪日旅行をあらためて見つめ直す内容だ。国内旅行は、観光振興による地域社会の持続・発展には観光DX戦略が不可欠だとして、旅行者の利便性向上、観光地経営の高度化、観光産業の生産性向上、観光デジタル人材の育成・活用など、地域の観光DXを考える。

海外旅行は、円安や物価高、仕入環境といった要因にとどまらず、若者離れが今後の国の競争力にもかかわる問題となっている。そこで今回は、日米観光交流年2024を契機に大学生による「アメリカ旅行企画コンテスト」を開催。ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーの日米観光交流年とも連動した内容とする。受賞作品は、旅行会社による商品化も期待できそうだ。

訪日旅行領域では、初の試みとして観光庁主催による「第11回世界遺産サミット in EXPO」を実施。世界遺産を有する自治体の首長らが集まり、その保全や活用策を話し合うもので、TEJ内で開催されることでその意義が広く知られることになる。

### 人材育成、生成AI活用など 話題多彩なプロフェッショナル・セミナー

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーのラインナップは、生成AIの活用方法、自家用有償旅客運送の最新制度、酒蔵ツーリズム、Z世代の旅行スタイルとデジタルマーケティング、観光型MaaSなど、いま注目のテーマが多彩に揃う。旅行需要が急回復する一方で人手不足が深刻化する中、人材育成にスポットを当てたセミナーも充実しており、学会・団体などの取り組みから知見を得たい。

顕彰事業では、第8回「ジャパン・ツーリズム・ア

ワード」の表彰式が行われる。選考結果はすでに発表されており、国土交通大臣賞は「愛知県『休み方改革』プロジェクト」、今年から新設された経済産業大臣賞はナビタイムジャパンの「訪日外国人向け観光ナビゲーションサービス『Japan Travel by NAVITIME』(インバウンド)」が受賞した。

初日26日に国内外の来賓、協賛社、商談会バイヤー、出展者などが参加する「ウェルカムレセプション」はまたとないビジネスネットワーキングの場。日本各地の食や文化芸能などのコンテンツを世界に発信するとともに、震災復興に向けて能登地方の伝統芸能が披露される予定だ。



アメリカ旅行企画コンテストでは若者の斬新なアイデアが期待される(写真はモニュメントバレー)

### 展示商談会

### 海外旅行本格復活へ80カ国・地域が出展 ATやクルーズなど特集エリアに注目

業界日に加え、28、29日の一般公開日に消費者も見学・体験できる展示ブースは、海外・国内の旅の最新情報やステージパフォーマンス、トラベルテックを活かしたテクノロジーといった多様なコンテンツがそろそろ。展示会として、入場券類、会場ガイドなどのデジタル化、カーボンゼロMICEなどを導入するのもSDGsに向けた新たな取り組みだ。

展示ではアドベンチャーツーリズム、クルーズ、スポーツツーリズムなどの特集エリアを展開。特に「クルーズ」は、コロナ禍で最も打撃を受けていた外航、フライ&クルーズの出展が大幅に増え、完全復活を印象づけている。プロ向けセミナーと同様、観光人材育成の「アカデミー」も多くの大学の観光系学部が学生、地域・観光事業者の双方に対しアピールする。

コロナ禍前並みの海外80カ国が出展する今年。

インド、サウジアラビア、フィリピンなどがブースを拡大しているほか、日米観光交流年のハワイやアメリカ本土、韓国、中国、ヨーロッパなども例年通り大型出展している。また海外旅行自由化60周年を記念し、海外旅行ブームをけん引したジャーナリストの故・兼高かおるさんが遺した貴重な記録をたどり、旅の魅力や意義を再発見してもらうパネル展も見どころだ。

### 2025大阪・関西万博につなぐ展示 被災地復興支援への取り組みも

TEJは、2025大阪・関西万博へつなぐ大きな役割も担っている。特設ブースでは、最新のパビリオンや未来ショーケース事業、各種イベントなどの情報を展示。大人気公式キャラクター「ミャクミャク」と写真を撮ることもでき、消費者の人気を集めそうだ。業界日は万博商品の企画に関わる相談ができる商談デスクも設置。国内では、沖縄、北海道に次いで、大阪周辺の三重が大型出展しており、万博から足を延ばした地方需要の取り込みに力を入れる格好だ。

北陸を中心に被災地支援、復興支援を目的とした旅行会社による商品販売、物販も予定されているTEJ。2025年の次回は、愛知県で初めて開催されることが決まっており、訪日旅行の分散化と地域活性化、能登半島地震からの復興に向けた支援など、中部と北陸が一体となった来年の盛り上げにつなげることが期待されている。

その他、別ホールでは例年通り「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」が合同開催、また観光IT関連の大手・スタートアップ企業が集まる「トラベルソリューション展2024」も共同開催される。



北陸地域の復興支援に向けて、26日のウェルカムレセプションでVTR出演される予定の御乗太鼓

www.incredibleindia.org

Incredible India

Namaste,  
world.  
India welcomes you.

Jaipur, Rajasthan  
Follow us on: @incredibleindia